

No. 8

バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井県営体育馆 Eコート

試合区分: No. 3 少年男子 1回戦

期 日: 2018(H30)年10月1日(月)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 鈴木 宏

副審: 川端弘樹

沖縄

○
92

(九州)

●
65

徳島

(四国)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	島袋 敬吾	12	0	5	2	0	4	4
5		嘉数 竜	10	2	2	0	2	6	5
6	*	福垣内 修二	11	1	2	4	1	4	1
7	*	幸地 信哉	14	1	5	1	1	3	3
8	*	比嘉 勝人	14	2	4	0	1	6	5
9		嘉数 啓希	7	0	3	1	1	3	1
10	*	桃原 翼	4	0	2	0	1	7	1
11		岡 優樹	9	1	2	2	0	1	2
12		宮城 亘	4	0	2	0	0	0	1
13		仲地 光賀	3	1	0	0	0	1	0
14		竹原 大地	4	0	2	0	3	5	0
HC		崎間 格 / TEAM							
		合計	92	8	29	10	10	40	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ビリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。両チームとも堅いディフェンスで、得点を許さない。沖縄は#6の3Pで先制。#4、#6のドライブインで得点を重ねていく。徳島は#9のリバウンドシュート、#9の3Pなどで応戦する。沖縄#4、#7の連続ゴールが決まり、20-9となったところで徳島がタイムアウト。その後、徳島#4が3Pを決めるが、沖縄#7などの3Pで25-12となり、沖縄リードで終了。

第2ビリオド、沖縄は#9、#18のドライブイン、#4がバスカットからのシュートを決め、点差を広げる。徳島は#7、#10の外角からのシュートで応戦するが、44-26で前半を終了。

第3ビリオド、沖縄は#8などのドライブインで得点を重ねる。52-26となった所で、徳島がタイムアウトをとり、立て直しを図るが、沖縄は1-2-2のゾーンプレスで速い展開に切り換え、#7の3連続ゴールで一気に引き離し、66-33で第3ビリオドを終了。

第4ビリオドに入りても、沖縄は#5の3P、#9のドライブイン、#10のインサイドと順調に得点を重ねる。徳島も#7の3P、ドライブイン、#4の3Pなど、外角からのシュートを決めるが、沖縄の勢いは止まらず、92-65で沖縄が勝利した。試合終了まで諦めずに戦った徳島の懸命さを称えたい。

担当者: 小林 浩樹 ((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

